

ひとりぼっちのいないまちを目指すためにどう取り組むか



答 学校にも意見を聞きながら進めていく

大宜見 洋文 議員

問 本町でも町民有志20人で「みんなの学校」の上映会が行われた。教育部学校教育課長も鑑賞されたが、どうだったか。

答 副町長 児童館の夜の活用は、整備して夜まで利用可能にする方針は、次年度から実現するか。

調査を終え、平成31年度実施

4つの児童館の利用拡充の計画はあるか

学校教育課長 インクルーシブ教育の充実には、いろいろな方策がある。どういう対応をとるか、学校に意見を聞きながら進めていく。

問 私は、糸満市教育委員会主催で「みんなの学校」を見た。本町でできない理由は何か。

学校教育課長 上映されたその学校は校長を筆頭に非常に一生懸命、インクルーシブ教育に取り組んでいる。

問 本町でも町民有志20人で「みんなの学校」の上映会が行われた。教育部学校教育課長も鑑賞されたが、どうだったか。

問 児童館の調理設備などを整備して夜まで利用可能にする方針は、次年度から実現するか。

副町長 児童館の夜の活用は、

件数は増加傾向と見ていいか。

こども課長 每年4人から5人増えている。支援対象者は、1回支援を始めると一生続く。担当の許容量を超えて、支援できなくなる状態が起ころる可能性が課題である。

問 日常的金銭管理支援事業の状況はどうか。

副町長 日常的金銭管理支援事業は、平成28年度が23件、平成29年度が2月末で29件である。

町社会福祉協議会の事業を問う

副町長 現在、自治会から要望は届いていない。まず児童館の活用から検討する。

に向けた検討を始めている。

問 解決策は考えているか。

こども課長 県社協の事業で大きな市が基幹となつて、ほかの町が一緒に金銭管理業務を行なう基幹的事業がある。それが平成31年度から市町村単独の補助事業になるという情報を得ている。また、成年後見制度の事業があり、これをセットに事業のフォローができるなど検討している。

○少人数学級の実現を目指すために
○町民の健康維持へのインセンティ
ブは
○農福連携について
こんな質問もしました

